

上口裕著『刑事訴訟法[第3版]』第1刷の正誤表

- ① 139 頁本文 下から 4 行目 (222 条 1 項・129 条 ~~4~~項) ⇒ (222 条 1 項・129 条)
- ② 141 頁本文 上から 8 行目 (99 条 ~~2~~項) ⇒ (99 条 3 項)
- ③ 147 頁本文 下から 4 行目 (218 条 ~~3~~項) ⇒ (218 条 4 項)
- ④ 169 頁本文 上から 5 行目 (同 ~~4~~項) ⇒ (同 5 項)
- ⑤ 169 頁本文 下から 11 行目 (同 ~~4~~項, 規 15 条 2 項) ⇒ (同 5 項, 規 15 条 2 項)
- ⑥ 169 頁本文 下から 10 行目 (同 ~~5~~項。・・・) ⇒ (同 6 項。・・・)
- ⑦ 169 頁本文 下から 4 行目 (218 条 ~~2~~項参照) ⇒ (218 条 3 項参照)
- ⑧ 178 頁本文 下から 11 行目 集団密~~行~~ ⇒ 集団密航
- ⑨ 408 頁

挙証責任・争点形成責任・証明方法・証明水準

要証事実	挙証責任	争点形成責任	証明方法	証明水準
実体法的事実				
構成要件該当事実	検察官		厳格な証明	合理的な疑いを超える証明
犯罪阻却事由	検察官	被告人	厳格な証明	合理的な疑いを超える証明
加重減免事由・量刑事実	検・被*1	被告人*2	厳格な証明	合理的な疑いを超える証明
訴訟法的事実				
訴訟条件(管轄違い・免訴・公訴棄却判決)	検察官	被告人*2	厳格な証明	合理的な疑いを超える証明
訴訟条件(公訴棄却決定)	検察官		自由な証明	合理的な疑いを超える証明
補助事実	検察官		厳格な証明	合理的な疑いを超える証明
自白の任意性	検察官	被告人	厳格な証明	合理的な疑いを超える証明
伝聞例外要件・関連性	検・被		自由な証明 厳格な証明	証拠の優越 合理的な疑いを超える証明
違法収集証拠の証拠能力	検察官	被告人	厳格な証明	合理的な疑いを超える証明
簡易な手続				
略式手続	検察官		自由な証明	合理的な疑いを超える証明
簡易公判手続 即決裁判手続			適正な証明	

- ⑩ 409 頁
 - (ii) 証拠の優越による証明 (a) 意義 要証事実が存在しない蓋然性よりも、要証事実が存在する蓋然性のほうが大きい場合に、要証事実が証明されたと判断する証明水準をいう。アメリカの民事手続で適用される原則的な証明水準といわれる。~~訴訟法上の事実の中でも、伝聞例外の要件などの証明は、証拠の優越で足りると思われる。このほか、刑訴法においても適用の余地があると思われる。たとえば、名誉毀損罪における事実の真実性のように、被告人に挙証責任が転換される場合の証明水準は証拠の優越と解すべきであろう。~~
- ⑪ 429 頁本文 下から 1 行目 憲法 ~~32~~条 ⇒ 憲法 37 条
- ⑫ 431 頁本文 上から 10 行目 A ら ⇒ A らを